



# α2, 6-Sialyltransferase

- 研究用試薬 -

【検出対象】H: ヒト M: マウス R: ラット

## Assay Kit

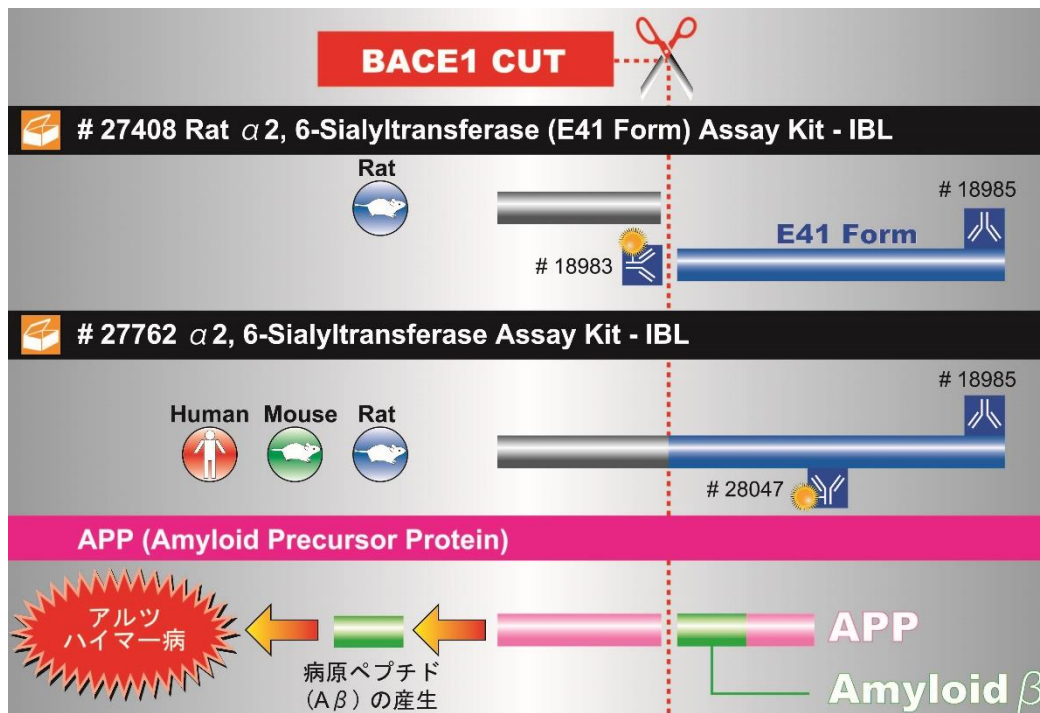
製品コード	検出対象	製品名	定価 (税抜き)	測定範囲	測定対象				
					血清	EDTA- 血漿	CSF	組織 抽出液	培養 上清
27762	H/M/R	α2, 6-Sialyltransferase Assay Kit - IBL	¥ 108,000	1.09 ~ 70 ng/mL	○	○	△	△	○

## 抗体製品

※一律17,000円

製品コード	検出対象	製品名	アプリケーション	定価 (税抜き)	容量	小容量※
18983	R	Anti-Rat α2, 6-Sialyltransferase (E41) Rabbit IgG Affinity Purify	WB	¥ 64,000	100μG	10μG
18985	H/M/R	Anti- α2, 6-Sialyltransferase (C) Rabbit IgG Affinity Purify	WB	¥ 64,000	100μG	10μG
28047	H/M/R	Anti- α2, 6-Sialyltransferase (M2) Rabbit IgG Affinity Purify	WB	¥ 64,000	100μG	10μG

糖鎖の生合成に関わる糖転移酵素であるα2,6-シアル酸転移酵素(α2,6-Sialyltransferase)は、アルツハイマー病(AD)の原因酵素の一つとして知られるβセクレターゼ(BACE1)により切断を受けることが明らかにされました。その切断部位も同定され、ゴルジ内で切断されたα2,6-シアル酸転移酵素は、ラットでは切断型α2,6-シアル酸転移酵素(E41 Form)となりゴルジ膜より放出、細胞外へと分泌されます。Aβ前駆体蛋白(APP)を1次的に切断しAβを産生するBACE1の阻害薬は、これまでADの治療薬としてはγセクレターゼの阻害薬に比べ安全とされ研究が進んできました。しかしAPPと共にBACE1の基質であるα2,6-シアル酸転移酵素の生理活性が明らかになると同時に、その副作用の可能性も示唆されるようになり、BACE1阻害薬の開発にはα2,6-シアル酸転移酵素の研究が重要となってきました。



## 取扱い販売代理店